事業完了報告書

提出日：２０２３年3月３１日

１．事業概要

（１）資金分配団体名：一般財団法人中部圏地域創造ファンド
（２）事業名：NPO による協働・連携構築事業
（３）事業実施期間：2019 年 11 月～2023 年 3 月
（４）実行団体名： 特定非営利活動法人アイダオ
特定非営利活動法人侍学園スクオーラ・今人
特定非営利活動法人上田映劇
愛知県県営住宅自治会連絡協議会
県営保見自治区
特定非営利活動法人トルシーダ
保見プロジェクト（ 中京大学）
外国人との共生を考える会
特定非営利活動法人かしもむら
特定非営利活動法人馬瀬川プロデュース
一般社団法人 Aichikara
学生団体加子母木匠塾

2. 規程類の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（１）事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑ 完了 ／ ☐ 整備中
→上記で「整備中」を選択した場合、整備できていない理由を記載してください。また、事業開始時と比較して、整備状況が改善された点を記載してください。
（２） 整備が完了した規程類を自団体の web サイト上で広く一般公開していますか。
☒ 全て公開した ／ ☐ 一部未公開 ／ ☐ 未公開
→上記で「一部未公開」または「未公開」を選択した場合、その理由と公開予定日を記載してください。
（３） 変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。
☐ 変更があり報告済 ／ ☐ 変更があったが未報告 ／ ☑ 変更はなかった
→上記で「変更があったが未報告」を選択した場合、その理由を記載してください。

3. ガバナンス・コンプライアンス体制の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1） 社員総会または評議員会、理事会は、規程類の定めるとおりに開催されていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（2） 内部通報制度は整備されていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「はい」を選択した場合、設置方法を以下から選んでください。（複数選択可） ☐ 内部に窓口を設置 ／ ☐ 外部に窓口を設置 ／ ☑ JANPIA の窓口を利用
（3） 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（4） 関連する規程類や資金提供契約の定めるとおりに情報公開を行っていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（5） コンプライアンス委員会を設置していましたか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（6） ガバナンス・コンプライアンス体制の整備や強化施策を検討・実施しましたか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→【任意】上記で「はい」を選択した場合、どのような検討・実施をしたか事例を記載してください。 半年に一度、ガバナンス・コンプライアンス委員会を実施。
（7） 団体の決算書類に対する会計監査はどのように実施しましたか。本事業の最終年度の状況を選択してください。（実施予定の場合を含む）
☐ 外部監査 ／ ☑ 内部監査 ※（複数選択可）
→上記で外部監査／内部監査を選択した場合、その実施者/実施時期を記載してください。 監事により４月に実施予定
（8） 本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。
☐ はい ／ ☑ いいえ

4. 広報実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、設問に回答してください。

（1）シンボルマークの活用状況	
☑ 自団体のウェブサイトで表示している	／ ☑ 広報制作物に表示している
☑ 報告書に表示している	／ ☑ イベント実施時に表示している
☐ その他 →「その他」を選択した場合は記載してください （自由記述）：	

最終年度の広報実績について記載してください。

広報種類	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）	無	
広報制作物等	有	最終成果報告会のチラシ（2023 年 3 月） 愛知県実施「休眠預金活用助成金セミナー・　～助成終了後の出口戦略について学ぼう」の開催要項（2022 年 11 月） 『NPO による協働・連携構築事業 事業レポート Vol.1』を使った広報（通年）
報告書等	有	事後評価報告書をレポートにして印刷作成し、関係者に送付

5. 実行団体への事業完了時監査

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

実行団体への事業完了時監査は実施しましたか。
☐ 実施済み　／　☑ 実施予定（完了予定時期：　２０２３年４月　）
→上記で「実施済み」を選択した場合、どのような評価できる点や課題があったか、その他気づいた点などを記載してください。

6. その他（本助成を通じて組織として強化された事項や新たに認識した課題、今後の対応/あればよいと思う支援や改善を求めたい事項など、自由にご記載ください。）

・中部圏での中間支援組織等とのネットワーク、法務や会計の専門家、評価委員と共に、着実に事業に取り組めたと思っています。
・初回の採択団体で、コロナ禍という特別な状況があった故と理解していますが、手続きや評価等の諸連絡が後手でいただきがちで対応に負担が生じましたが、プロジェクトチーム等で改善していただいていることは有益で感謝しています。
・ガバナンス・コンプライアンスが一律的で、学生団体や任意団体の実状に合っていない部分があると感じますので、今後の改善に期待したいと思います。

・評価について、当初、自己評価が基本と伝えられ、実行団体になるべく徹底してきました。が、途中から専門家を入れることを推奨されているように感じました。これに対し、2019 は当初通り、自己評価の方針としました。社会的インパクト評価は、事業現場で生まれている成果を選択的に分析してしまいがちと感じます。ボトムアップ型の評価と融合した、現場が元気になるような評価体系を構築できるとよいと考えます。
・JANPIA も、第一期でご苦労も多かったと思います。質問等をさせていただいた際には、いつも誠実にご対応いただきました。３年間、どうもありがとうございました。

【添付資料】

活動の様子がわかる写真　５枚程度

JANPIA の事業報告書や WEB サイト、SNS 等で公開可能な写真を５枚程度（1 枚 2MB 以下）ご提出ください。（肖像権・著作権に十分にご注意ください。）

それぞれどんな場面の写真なのか、1 枚あたり 50 字から 200 字程度で説明を記載していただきますようお願いいたします。

※ご提出をもって JANPIA での使用にご了承いただいたこととし、使用時に改めて確認はいたしませんので、ご承知のうえ、使用に差支えのない写真（使用許可をとった写真や個人が特定される写真を避ける等）を選んでいただきますようお願いいたします。

※資金分配団体としては、特にありません。実行団体のものをご使用ください。
また、事後評価報告の中に、実行団体の事業の様子の写真を掲載しています。